



# 平成30年 郡上市成人式

1月7日（日）に「平成30年 郡上市成人式」が、郡上市総合文化センター（南部会場）及び白鳥文化ホール（北部会場）において挙行され、462人（南部195人、北部267人）のみなさんが、晴れて成人式を迎えました。

第1部の式典では、各中学校の代表が希望に満ちた力強い「誓いの言葉」を述べました。続いて、第2部では各会場ごとに実行委員のみなさんが企画した「お楽しみ抽選会」や「新成人チャレンジクイズ」などのアトラクションが行われ、会場を盛り上げました。また、最後は「思い出のスライドショー」が行われ、中学生時代の思い出を振り返りながら、会場の新成人や参加者からは笑顔がこぼれました。



## ■ 南部実行委員会

南部実行委員会は、新成人13人（八幡中学校5人、八幡西中学校2人、郡南中学校1人、明宝中学校1人、郡上東中学校4人）により構成され、記念品の選定やアトラクションの企画、会場の飾りつけ、案内状の送付作業、配布物の袋詰め、当日の運営などを行いました。

### ● 成人式終了後、実行委員にアンケートなどで感想を聞きました

「みんなで楽しくできて、達成感があった」「新成人の意見が取り入れられてよかった」など、新成人による企画運営でよかったという意見が多く聞かれました。市外在住の委員が多かったですが、4回の実行委員会や前日の会場準備など、委員みんなで集まれることを楽しみにしているようでした。また、会議に参加できなかった委員とも、LINEなどで情報を共有し、アイデアを出しあい、本番では委員以外の新成人にも声をかけをしながら、皆が一緒になって盛り上げてくれました。



### ● 実行委員長の和田 鮎奈さん（八幡町）に感想を聞きました



成人式実行委員会はとても楽しかったです。当日はもちろんですが、準備や月一回の会議も、私にとって楽しみの一つでした。私は進学して郡上を離れて、いかに郡上のことが好きで、郡上の人たちのことが好きなのかがよくわかりました。だから、今回、大好きな郡上の成人式の計画や運営に携われて、とても嬉しかったです。事務局のみなさんの力をお借りしながら、みんなで最後までやりきることができて本当によかったです！楽しかったです！ありがとうございました！





## ■ 北部実行委員会

北部実行委員会は、新成人12人（大和中学校 4人、白鳥中学校 4人、高鷲中学校 4人）により構成され、記念品の選定やアトラクションの企画運営、案内状の送付作業、会場の飾りつけや当日の受付・会場案内を行いました。

### ● 成人式終了後、実行委員にアンケートなどで感想を聞きました

実行委員12人全員が、実行委員をやったよかったと答えられました。来年成人式を迎える後輩には、「ぜひメンバーとして頑張してほしい」「みんなで新しいことに挑戦してほしい」という意見が聞かれました。

アトラクションの「新成人チャレンジクイズ」は実行委員会で作った内容でした。実行委員会の中で、意見を出し合いながら細かいところを決定していきましたが、当日を迎えるまでは不安がありました。当日は、みんなに喜んでいただき、達成感と充実感がいっぱいでした。



### ● 実行委員長の渡邊 佳奈さん（高鷲町）に感想を聞きました



成人式の実行委員を経験させていただき、式の運営・企画に携わることができ、一生忘れることのできない思い出になりました。昨年9月の第1回実行委員会から、みんなで考え、支え合い、協力しながら進めてきました。アイデアに行き詰まったり、不安になることもありましたが、みんなで助け合いながら当日を迎えることができました。この5ヵ月間は、中学生に戻ったように楽しく充実した日々でした。

来年、成人式を迎えるみなさんも、ぜひ、実行委員会のメンバーとなって、思い出深い成人式を創り上げてください。



## 新成人「誓いの言葉」

※各中学校代表による誓いの言葉  
の内容の一部を要約してご紹介  
します。



和田 めいりさん  
(八幡中学校代表)

私は、三人兄弟の末っ子として生まれ、みんなに愛され優しくされる反面、わがままで自由に暮らしてきました。反抗期が小学校6年生から高校まで続き、早くこの生活から抜け出したいという思いから家族を言葉で傷つけたこともありましたが、しかし、親元を離れ、名古屋で生活してみても、家族に対する感謝の気持ちでいっぱいになりました。

私は、大学で国際科を専攻しています。カナダへ留学した時に、インターシップの日本人の方たちを見て、私は、将来、インターシップや派遣業など人を動かす仕事をしてみたいと感じ、自分が専攻している授業だけでなく経営学部の授業も受けています。将来は、私にしかできないことをしたいと考えています。



東山 雄飛さん  
(八幡西中学校代表)

私は、名古屋で一人暮らしをしながら専門学校に通い、来年度からは、今まで目標にしていた東京のサロンで働けるようがんばっています。



杉原 和さん  
(郡南中学校代表)

郡上から離れていくにつれ、郡上の良さを実感しています。郡上へ学校の友人を連れて来たことがあります。友人たちは「空気が違うね」、「静かで落ち着く」、「住みたい」と言ってくれました。現状は、多くの若者たちが郡上から出ていきますが、この問題を解決することが、僕たちが育ってきたこの郡上にできる恩返しだと思っています。僕はしたいことができるうちに可能性を活かし、たくさん経験を積み、失敗しても、それを成長のチャンスだととらえながら、後悔のない人生にしたいと思っています。



下田 知幸さん  
(明宝中学校代表)

私は、現在、大学生として地域経済や経営、法といった幅広い経済の学習に取り組んでいます。

私は、将来、医療の仕事に携わるため、大学に通っています。今は、やりたいことがたくさんあり、外の世界に出たいと考えていますが、私は郡上が大好きで、休み等で帰ってくると、家族や郡上の自然に心がほっとします。私は、郡上の人々や豊かな自然に囲まれてのびのびと育ったことで、自分の生きたいように生き、挑戦する私になれたのだと思っています。新しいことを求めて外へ出るばかりでなく、人生の基盤を作ってくれた郡上への感謝を忘れないようにします。今の私が郡上のためにできることは、友達を連れてきていいところを紹介したり、いろいろな人に郡上のことを話したりするなど、本当に小さなこととです。それでも、郡上をアピールすることで認知度を上げ、郡上のファンや訪問者の数を増やすことに貢献し、恩返しができるいいなと思っています。



村山 皓紀さん  
(郡上東中学校代表)

私は、現在、金沢の大学に通いながら一人暮らしをしています。

す。大学進学で一人暮らしをし、お金の大切さ、親のありがたさと自分の未熟さを痛感しました。郡上を離れたことで郡上の良さを感じ、以前より郡上のことが好きになりました。

郡上は自然豊かで、人や地域の繋がりが強く、人のあたたかみがある町です。地元に戻るたびに声をかけてくださる地域の人があることは、帰る楽しみでもあり活力にもなります。伝統ある町並みや文化を、一丸となつて大切に作る地域性もこの町の良さではないでしょうか。このような郡上の素晴らしさを今後は私たちが後世へ伝え、発信し残していきたいと考えます。

混沌とした時代に成人を迎えた私達は、改めて責任と使命を持つて生きていく必要があると考えています。社会のためご尽力されている先輩のみなさんには、まだまだ未熟な私たちにこれから温かいご指導をお願いしたいと思っています。



小池 春陽さん  
(大和中学校代表)

今日、この日を無事に迎えられることを大変嬉しく思います。

す。親元を離れ、感謝の気持ちはあっても、なかなか親孝行できていない自分に気づき、これからその気持ちを行動で示していきたいと思っています。小さい頃は神様が夢を叶えてくれていたような毎日でしたが、それは周りの大人たちの支えによるものでした。今は思い通りにいかないことが増え、自分の力不足に気付かされる毎日ですが、それこそが大人になることだと思います。私は西和良中学校の最後の世代です。短いながらも素晴らしい思い出が詰まった印象的な一年でした。

ふるさとを離れ、郡上のような住民同士の深い交流は稀有だと痛感しています。郡上のように人々の温もりを強く感じられる共同社会の心があれば、地域から地球規模までの大きな問題にも対処していけると信じています。私は移り変わる時代の中で、人間が持つ大きな力「考える」ことを続けていきたいです。



私には、英語科教員になるという夢があります。昨年は、アメリカへ短期留学し、オールイングリッシュの世界を肌で感じることができました。「英語」はコミュニケーションの道具の一つとして終わることなく、自分の意志を伝えるためのきっかけ、発信手段となっていることを強く感じました。今の自分があるのは、いつも温かく支えてくれる家族や地域のみなさんのおかげであり、この郡上の地に生まれ育ったおかげだと思っています。これからも、出会うすべての人に感謝し、夢に向かって進んでいきたいと思っています。



三輪 慎之介さん  
(白鳥中学校代表)

現在、私は、大学で外国語教師を目指して勉学に励んでいます。20歳を迎える直前、元サッカー日本代表の中田英寿選手とお会いし、世界を回った時の経験を活かして、日々努力されていることを聞きました。私も留学を経験し、海外での仕事や様々な可能性に大変興味を持っています。私が留学したシドニーは、海に面した巨大なビジネス

の街でした。世界中から様々な人種の人々が集まり仕事をしていました。そこには人種の壁はなく、白人も黒人も、そして日本人も、英語という一つの共通言語を通し繋がっていたのです。私はその光景をみて、自分の将来への可能性を感じました。将来どんな人生を歩むか見当もつきませんが、今は、できる限り努力をし、夢に向かって進み続けたいと思います。



鈴木 瀬七さん  
(高鷲中学校代表)

私には、飛行機の整備士になって、日本の空の安全を守りたいという夢があります。高校生のときには、実家を離れ、一人で岐阜市の高校に通っていました。辛いときには、いつも郡上の空を思い出して、空を見上げ、元気をもらっていました。そんなとき、雲ひとつない青空の中、エンジン音を響かせながら飛んでいく飛行機がとても美しく、力強く感じられ、一瞬で飛行機が好きになりました。そして、大好きな空を守ることができるようになりたいと思うようになりました。

今、私は関市にある航空専門学校で、新設されたコースの一期生として、航空整備士の資格取得を目指して勉強しています。卒業後には、空の安全の確保に携わり、多くの人に安心を届けられるよう日々精進していきたいと思っています。

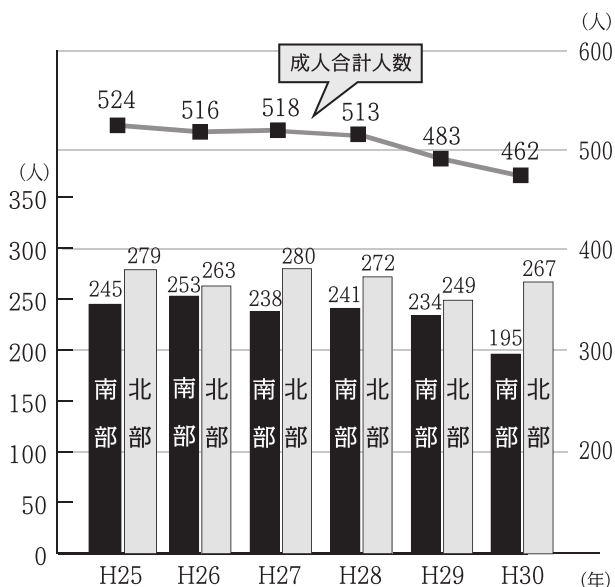
新成人のみなさんに記念品  
をご寄贈いただきました

成人式の記念品として、記念品をご寄贈いただきました。  
ありがとうございました。



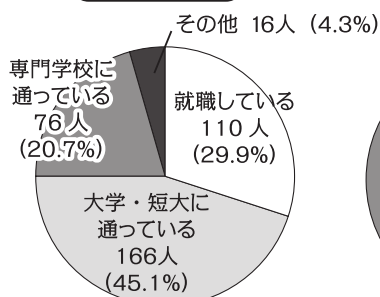
- 国際ソロプチミスト岐阜- 郡上 様…エコバッグ (右)
- 郡上地区交通安全協会 様…万年筆とパンフレット(中央)
- 郡上食育応援隊 様…食育パンフレット (左)

## ◆今年の新成人は 462 人 (男240 人、女222 人)

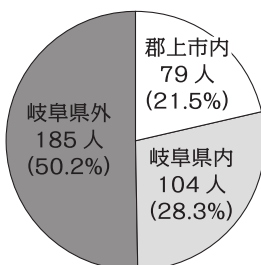


## ◆新成人に現在の状況と郡上市で生活すること についてのアンケート調査を実施しました

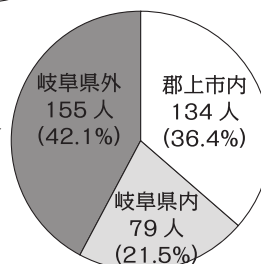
### 現在の状況



### 現在の生活場所



### 将来生活 したい場所



南部 139 人  
北部 229 人  
計 368 人